

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果(榛沢小学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数
榛沢小	下回った	下回った
埼玉県	69	64
全国	67.7	63.4

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	榛沢小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	100	94.4	93.7
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	95.4	84.5	82.9
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	100	92.3	91.6
学習習慣	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	100	83.3	80.7
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上、勉強をする(学習塾や家庭教師、ICTを活用して学ぶ時間も含む)	90.9	58.5	54.6
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする	86.4	50.8	48.6
	放課後や週末に、家で勉強や読書をして過ごすことが多い	72.7	50.2	49.3
教科への関心	国語の勉強は好きだ	81.9	63	62
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	95.5	94	93.2
	算数・数学の勉強は好きだ	54.6	60.4	61
	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	100	94.8	94.1
主体的・対話的な学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	95.5	85.4	81.9
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	81.8	73.3	67.6
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	95.4	84	79.6
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた	100	88.9	86.3
その他	自分には、よいところがあると思う	90.9	85.9	84.1
	将来の夢や目標をもっている	100	83.6	82.4
	人の役に立つ人間になりたいと思う	100	96.2	95.9
	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	100	84.3	83.5

【質問紙分析】

- ・「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている」「学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上、勉強をする」「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする」の割合が全国や県の割合と比べて高い。令和4年度から家庭学習の充実を図るために、職員で研修を行ったり、家庭への周知を行ったりしている。また、当該学年では4年生から「けてぶれ学習*」に取り組んでおり、主体的に学ぶ姿勢が身に付いてきていることが要因であると考えられる。
 - *「けてぶれ学習」・・・計画・テスト・分析・練習の頭文字をとった学習法。子供自身が学習のゴールを決めて計画を立て、自分の力を確認・分析し、練習をするサイクルを繰り返していく。子供の学習にPDCAサイクルを当てはめたもの。
- ・「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」の割合が全国や県の割合と比べて高い。本校のふるさと教育の取組の中で、地域の方に指導をいただく機会を多く取り入れていることが、「地域や社会に貢献したい」という意欲につながっていると考えられる。
- ・「算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と考えてはいるものの、「算数・数学の勉強は好きだ」の割合が全国や県の割合と比べて低い。授業の導入の工夫や、児童が自分の学習課題を理解し学習に取り組むことのできる環境をつくり、指導を行う必要がある。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

【国語】

「よかった点」

○1二（2）

- ・出題の趣旨は「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。」であるが、授業や帰りの会のスピーチで発表や報告を行うだけでなく、聞き手の反応を見たり、自分の考えがより伝わる工夫を考えたりした活動を行った結果だと考えられる。

○2一（1）

- ・出題の趣旨は「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうかみる。」であるが、メモをもとに、文章を書いたり、学級会等で話し合ったことを分類し、整理したりする活動を行った結果であると考えられる。

「課題」

● 2 二

- ・ 出題の趣旨は「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。」であるが、文章を書く際に、事実を捉え書くことができるものの、それを基に意見を書くことができる児童が少ないと考えられる。

● 3 三

- ・ 出題の趣旨は「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる。」であるが、意見や考えた理由を書くことや、提示された条件を満たした文章を書くことができる児童が少ないことが考えられる。

【算数】

「よかった点」

○ 2 (2)

- ・ 出題の趣旨は「除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる。」であるが、除法においての除数と商の大きさの関係を授業の中で繰り返し指導した結果であると考えられる。

○ 5 (3)

- ・ 出題の趣旨は「折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。」であるが、授業の中でグラフから読み取ったことを記述する活動を行った結果であると考えられる。

「課題」

● 3 (3)

- ・ 出題の趣旨は「球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる。」であるが、図形を構成する要素が理解しきれていないと考えられる。

● 4 (3)

- ・ 出題の趣旨は「道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。」であるが、道のり÷時間を用いて速さを求めることができる児童が少ないことが考えられる。

● 4 (4)

- ・ 出題の趣旨は「速さの意味について理解しているかどうかをみる。」であるが、速さが何を示しているか理解している児童が少ないことが考えられる。

【国語】

- ・ 目的や意図に応じて、文章を書く際に、事実を捉え書くことができるものの、それを基に意見を書くことができる児童が少ないため、事実を基に意見を書く活動を各教科、領域のふりかえり等でも行う。その際、文末表現に注意し書かせたり、事実と考えが混同していないか確かめたりする場面を設定することが大切である。
- ・ 物語文や説明文で読み取ったことを基に、意見や考えた理由を書くことや、提示された条件を満たした文章を書くことができる児童が少ないため、授業の中で、条件を提示した上で文章を書く活動の時間を確保していく。

【算数】

- ・ 授業の中で、図形を構成する要素に着目させ、図に長さや大きさを書かせることで、それぞれの大きさや特徴を捉えさせていく。
- ・ 単位量あたり、割合の学習で、2つの数量関係を正しく捉えることができる児童が少ないため、まずは基にする数を確認させ、数量の関係を数直線に整理させる活動を行っていく。
- ・ 速さ、道のり、時間の意味を日常の具体的な場面に対応させながら理解させていく。

【その他】

- ・ 引き続き、毎月の学力向上プリントに取り組ませ、指導を行っていく。